

平成 25 年 2 月 5 日

世田谷区立船橋希望中学校
校長 徳永 啓介 様

世田谷区立船橋希望中学校
学校関係者評価委員会
委員長 君島光司

平成 24 年度学校関係者評価結果報告書

学校関係者評価委員会において、「学校評価システム」に基づき、関係者アンケート調査の結果の分析や自己評価の結果及び授業等の観察などをもとに総合的な評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

【アンケート調査結果の分析の観点と評価について】

アンケート調査結果の分析については、以下の観点により評価した。また、調査結果の分析は、全学年の結果とともに、学年別の結果も評価した。

- 1 「とても思う」「思う」の割合の合計を「肯定的評価」と捉え、「評価が高い項目」（生徒は 60% 以上、保護者は 50% 以上の項目）と「特に評価が高い項目」（生徒は 80% 以上、保護者・地域は 70% 以上の項目と、「とても思う」の割合が 30% 以上の項目）に分けた。
- 2 「あまり思わない」「思わない」の割合の合計を「否定的評価」と捉え、「課題がある項目」（生徒・保護者・地域ともに 25% を超える項目）と「特に課題がある項目」（40% を超える項目や「思わない」の割合が 20% 程度の項目）に分けた。
- 3 「分からぬ」の割合については、25% を超える項目に注目し、その割合が多い原因を検討するため、教職員の意見や保護者アンケート「記述式のまとめ」などで分析した。
- 4 船橋中学校・希望丘中学校の前年度アンケート調査結果（独自項目を除く）と比較検討を行い、統合 1 年目の取り組みを適切に評価した。
なお、この報告書の括弧内の数値は、昨年度の船橋中学校（左）、希望丘中学校（右）の数値である。
- 5 保護者アンケートの「記述式のまとめ」の内容については、1 人の意見を重視しすぎて、全体の状況を見誤らないように配慮した。しかし、少数ではあるが重要だと判断した意見については、分析に活用することとした。

【アンケートの回収率について】

アンケートの回収率は、生徒 95%、保護者 58%、地域 38% であった。保護者・地域については、様々な働きかけにより回収率を上げたい。

【関係者評価・自己評価等をもとにした本校の成果と課題】

I 重点目標への取組の成果と課題

生徒は、「8 重点目標および数値目標（独自項目）」の(1)～(3)の項目で、保護者・地域は、「学校運営について」の(1)「学校の重点目標が明確である」の項目で評価した。

全般的には「評価が高い項目」であるが、学校が考えているより、生徒・保護者には重点目標が浸透していない傾向が見受けられる。より丁寧な生徒への指導や保護者への説明に心掛けてほしい。

II 地域とともに子どもを育てる教育の成果と課題

1 広報活動・情報提供

保護者は「8 広報活動・情報提供について」(1)～(4)の項目で、地域は「4 広報活動・情報提供について」の(1)～(4)の項目で評価した。

学校の広報活動・情報提供は、保護者・地域とも「評価が高い項目」であり、満足度が高い。特に、教職員の努力で、「学年だより」が高い頻度で発行されており、学校での子どもたちの様子など様々な情報が多く発信されていることは、高く評価されている。

教職員の丁寧な説明や対応も「評価が高い項目」であるが、統合の影響を踏まえ、保護者等には、より丁寧な説明や対応に心掛けてほしい。

また、ホームページの充実については、学校が情報発信のツールとして活用することを今後十分に検討されたい。

2 保護者・地域との連携

保護者・地域との連携は、地域運営学校（学校運営委員会）を除き3項目とも「評価が高い項目」であり、自己評価でも評価が高く、保護者・地域との連携は良好である。

しかし、保護者の「分からぬ」の割合が、学校協議会、人材や施設の活用や地域行事等への参加・協力で高く、地域でも、人材や施設の活用で課題があった。

のことから、情報提供や広報の方法を検討されたい。特に、「1 広報活動・情報提供」での保護者の評価結果との差異が大きいことが課題である。3学年とも高い頻度で発行される「学年だより」で情報提供されているが、保護者・地域との連携については、「学年だより」では補うことができない内容と考えられるからである。

なお、地域運営学校の学校運営委員会について、関係者等アンケート調査項目で、保護者及び地域の独自項目で質問項目としなかったため、学校運営委員会の活動を評価できなかった。このことは、学校関係者評価委員会の過失であった。しかし、自己評価では、75%の教員が活発に活動していると評価していることから、学校運営委員会で保護者・地域の意見を反映して運営していることが窺える。

III 未来を担う子どもを育てる教育の成果と課題

1 学習指導

学習指導については、生徒・保護者ともに「評価が高い項目」で、学校の取り組みは良好である。

特に生徒は、教員の学習指導の取り組みにより、(1)「授業の内容はよく理解できる」は75% (73・70) で、前年との調査結果より評価が高く、現在の学習指導に概ね満足している。しかし、保護者は、授業に不満があったり、学力がついているかどうかを実感できていなかつたりしているところが見られる。また、家庭学習や補習などに関しても、学校の取り組み姿勢に疑問を感じている部分もある。

通知表の評価については、(3)「通知表の評価は、納得できる」は73% (70・72) であり、前年との調査結果より評価が高い。教職員が評価規準を明確にして評価していることが反映され、生徒・保護者とも納得できている。

しかし、授業時間については、生徒が何を規準に判断しているかと教員の日常の授業状況を把握し、改善すべきところは改善されたい。

2 生活指導

生徒は、(1)「わたしは学校のきまりを守って行動している」は86% (85・85) で、学校の規則を守って行動し、保護者も問題行動が少ないと感じているだけでなく、地域からの評価も高い。また、生徒は教師の指導にも納得して学校生活を送っている。このことは、自己評価で、教員が社会の一員としての自覚や生活ルールなどの指導を実践している評価が高いことが反映している。しかし、個別の学年で否定的評価が気になる項目は課題として捉え、生徒の不満の蓄積は問題行動につながりやすいので、生活指導の充実を図ってほしい。

保護者は、相談の機会が減ったと感じていることにより、中学校の生活指導の内容や方法に対しての理解が深められないことがある。様々な場面で相談の機会を増やすなどの一層の改善を要する。

3 学校行事

生徒は、(1)「楽しみにしている学校行事がある」は肯定的評価が82% (77・75)、「とても思う」も51% (47・46) であり、(2)「行事では、みんなが活躍するチャンスがある」は73% (72・69)、(3)「先生は、生徒の意欲を大切にした指導をしてくれる」も74% (69・69) の肯定的評価であり、統合前よりも評価が高く、統合による生徒数増が良い結果になっている。保護者も同様で統合の影響がない。また、生徒・保護者ともに、行事を楽しみにし、活躍するチャンス（場面）の評価が非常に高いことから、行事が充実していることが分かる。これは、自己評価で、生徒の主体的な参加や行事の工夫・改善に取り組んでいる評価が高いことが反映している。

しかし、1年生で否定的評価が、(2)は25%、(3)は28%で、1年生の行事への取り組ませ方は課題であり、学校として改善策を検討すべきである。また、地域の評価が統合前より評価が低くなっているが、来校の頻度との関係等の原因を検討されたい。

4 キャリア教育・進路指導

自己評価では、年間計画に基づき計画的に職場体験などを実施し、情報提供や進路相談を丁寧に実施している評価が高いにもかかわらず、生徒・保護者ともに評価が低く、「課題がある項目」である。

生徒・保護者に、進路指導＝キャリア教育のことが理解されておらず、進路指導＝進学指導との認識で回答しているのではないかと推察される。特に、「生き方指導」の授業は、道徳や特別活動などで実施されていることが生徒・保護者に理解されていないのではないか。授業では「ねらい」を明確にして、生徒に「生き方指導」の授業であることを認識させるべきである。

また、情報提供と進路相談とともに、学年進行とともに改善されることは、生徒・保護者は塾などの進学情報と混同し、進路相談も進学に限定されていると推察される。情報提供と進路相談では、進学に関するだけでなく、生徒の個性や能力を基に、「職場体験」や将来の職業などについて、様々な情報を提供し、生徒・保護者と相談の機会が必要である。

5 体育・健康教育

自己評価での評価が高いが、保護者の「11 学校全般について」の(4)「本校では、健康の増進や体力の向上に取り組んでいる」との評価と乖離がある。このことについても、学校でどのような取り組みを実施しているかを広報する必要がある。

6 世田谷9年教育

「世田谷9年教育」の「学び舎」で策定した「『学び舎』教育計画」に基づき学校運営を行っていることが、統合1年目であるためか、生徒・保護者・地域に浸透していない。

教職員の交流を基に意識を高め、連携する小学校と協力して、児童との交流活動が多く実現することで、生徒の意識も高まることを期待したい。また、保護者・地域に対しては、小学校と連携した「学び舎だより」などにより広報の充実が図られることを期待したい。

7 部活動

生徒は、(1)「学校全体で、部活動は充実している」の肯定的評価が78% (73・51)、「とても思う」の割合も42%であり、(3)「入りたい部活動がある」の肯定的評価が78% (71・68)、「とても思う」の割合も49%と高く、統合により希望が叶う体制が整ったことと、活動が充実してきていることを感じている。このことは、自己評価での部活動の活発さと組織的実施での評価が高いことが反映している。しかし、「回数と時間」については課題がある。このことについては、校庭・体育館等の施設の面や中学生として望ましい部活動の回数と時間について、生徒全体に指導をする必要がある。

保護者は、「回数と時間」だけでなく、部活動の指導や顧問の対応などに不満を感じていることが、「記述式のまとめ」から推察できる。統合による影響等を踏まえ、丁寧な指導や対応が望まれる。

また、教職員についても、「勝利至上主義」でない中学校の部活動指導のあり方について、意識を高める必要がある。

IV 信頼と誇りのもてる学校づくりの成果と課題

1 学校経営・学校運営

学校経営・学校運営に関しては、保護者・地域とも「評価が高い項目」であるが、統合

前と比べ評価が若干低くなっている。校長を中心に教職員が協力して教育活動に取り組んでいることは、自己評価から窺える。また、学校の取り組みや教職員の姿勢についての地域の評価も高い。しかし、保護者からはその取り組みが見えにくいこともあると推察できる。広報や情報提供など教育活動が見える工夫が必要である。

2 教職員

生徒は、(1)「先生は、いつも熱心に指導してくれる」は、肯定的評価が80% (74・75)であり、教職員が様々な場面で熱心に指導しており、生徒・保護者ともに教員の指導には満足している。しかし、(3)「先生は、わたしの話をよく聞いてくれる」は肯定的評価が63% (58・54)で「評価が高い項目」であるが、否定的評価が1年生30%、2年生31%である。また、(2)「先生は、誰に対しても公平である」は肯定的評価が54% (44・35)、否定的評価も40% (47・45)で「課題がある項目」である。教員の指導の公平性や聴く姿勢については、生徒の評価は分かれている。指導場面や対応時の状況によって、生徒一人一人の受け取り方や感じは大きく左右されることがあるので、数値のみでの判断は難しい。生徒は3項目とも統合前より改善されているが、統合による生徒数増ということを踏まえると、教員と生徒の触れ合う時間を意図的に作り、より丁寧な対応が望まれる。

教職員の対応については、保護者の8(2)「ていねいに説明や対応をしている」の評価も併せて考察した。統合の影響を踏まえると、保護者・地域には、より丁寧な説明や対応に心掛けてほしい。また、「マナー」に関しては、様々な場面で評価されていることを意識して、教員として行動する必要がある。

3 保健・衛生管理（学校環境・学校給食）

保護者の「10 学校の安全性について」(5)「本校は、校内の環境や給食への衛生面の配慮がなされている」で評価した。学校環境・学校給食については、問題がない。

4 安全管理

保護者は「10 学校の安全性について」(1)～(3)、地域は「6 学校の安全性について」(1)・(2)で評価した。学校の安全性については、安全指導・避難訓練や災害時の保護者・地域との協力など「評価が高い項目」であり、学校の取り組みが理解されている。

V 教育環境の整備の成果と課題

保護者は「10 学校の安全性について」(4)「本校の施設の安全性は、確保されている」、地域は「6 学校の安全性について」(3)「本校では、学校施設の安全性は確保されている」で評価した。施設・設備の安全性の確保については、「分からない」の割合が高いことと、保護者の否定的評価が高いことが課題である。施設・設備の状況を、保護者・地域に広報をする必要がある。

VI 学校生活全般の成果と課題

生徒は「7 学校全般について」の(1)・(2)で、保護者は「11 学校全般について」の(1)～(3)と(5)で評価した。

生徒は、(1)「毎日の学校生活が楽しい」は、肯定的評価が 79% (75・69) であり、「とても思う」も 36% (33・30) である。また、(2)「自分が通学している中学校が好きである」も、肯定的評価が 74% (70・69) であり、「とても思う」も 32% (28・27) であり、2 項目とも「特に評価が高い項目」で、統合後の新校に愛着をもち、中学校生活を楽しく満足して送っている。

保護者も、子どもたちが楽しい学校生活を送り、学校全体に活気があると感じている。また、教育活動に対する満足度は概ね良好である。しかし、今後の課題として、このアンケート調査から、学習指導・生活指導・進路指導などの項目で、保護者の満足していない教育活動を抽出して、対策を検討する必要もある。

VII 数値目標の取組の成果と課題

1 「運動会や学芸発表会では、本気に取り組み、達成感を得ることができた」と実感できる生徒を 80%以上にする。

生徒の「8 重点目標および数値目標（独自項目）」(6)「運動会や学芸発表会では、本気で取り組み、達成感を得ることができた」では、肯定的評価が 89%、「とても思う」が 56% で「特に評価が高い項目」であり、目標は達成されている。

また、保護者の「12 重点目標および数値目標（独自項目）」(6)「子どもたちは、運動会や学芸発表会で意欲的に取り組んでいた」では、肯定的評価が 95%、「とても思う」が 42% で「特に評価が高い項目」であり、保護者も子どもの意欲的な活動に十分満足していることが窺える。

2 「授業の内容が理解できる」と実感できる生徒を 80%以上にする。

生徒の「1 学習指導について」(1)「授業の内容はよく理解できる」では、肯定的評価が 75% (73・70) で、概ね目標を達成している。しかし、否定的評価も 22% (25・29) で、1 年生 27%、2 年生 25% であるが、学習習得確認調査をもとに教員が改善に取り組み、改善の傾向にある。今後は教員同士の授業参観で検証することを期待したい。

保護者について、「1 学習指導について」(1)「本校は、子どもにとってわかりやすい授業をしている」は、肯定的評価が 57% (60・69) で、「評価が高い項目」であるが、統合前より数値は若干下がっている。また、「分からぬ」が 25% で、特に 1 年生で 22% が否定的評価で、「分からぬ」も 30% である。この課題についても、別途調査をして、改善の方向性を検討されたい。

3 「学校のきまりを守って行動している」と自覚できる生徒を 90%以上にする。

生徒の「2 生活指導について」(1)「わたしは学校のきまりを守って行動している」では、肯定的評価が 86% (85・85) と「特に評価が高い項目」であり、目標はほぼ達成されている。生徒は学校の規則を守って行動し、教師の指導にも納得して学校生活を送っている。

また、保護者・地域も、学校でルールを守る指導が行われ、生徒は社会のルールを守つて生活し、問題となる行動は少ないと感じている。

VIII 独自項目の評価

生徒・保護者・地域の独自項目は、各項目とも概ね高い評価である。

「朝読書」については、生徒は熱心に取り組んでおり、保護者・地域も継続の要望が強い。また、「マナー」についても、生徒は良いマナーに心掛けており、保護者・地域も生徒のマナーは良いと判断しており、本校の生徒のマナーは問題がない。

しかし、「ボランティア・地域活動への参加」については、生徒の参加状況はあまり良くないが、保護者・地域は子どもたちの参加が悪いとは感じていない。生徒の参加状況の改善には、生徒会などの広報や生徒への教師の働きかけが必要である。

「少人数授業」は、保護者・地域の要望が高いが、生徒は肯定的評価 67% と「評価が高い項目」であるが、否定的評価が 24%（1年生 27%、2年生 29%）である。少人数授業の指導内容・指導方法の研究が必要である。

【学校関係者評価委員会の総合所見】

統合 1 年目で、生徒・保護者とともに様々な不安を抱えたままのスタートであったと思われる。しかし、教職員の教育活動での様々な取り組みと努力により、生徒・保護者ともに「評価が高い項目」が多く、全般的には成果が上がった 1 年である。

特に、生徒は、学校生活の基盤となる学習指導、生活指導、学校行事、部活動のほとんどの項目で、前年度の船橋中学校・希望丘中学校の調査を上回る結果であった。これは、新校の取り組みの中で不安が払拭できただけでなく、統合での生徒数増による様々な活動で、生徒同士が協力し合いながら切磋琢磨した結果であると考えられる。

保護者も全般的には生徒と同様であるが、前年度の調査結果を下回る結果もいくつかの項目であり、統合に対する不安や不満が払拭されていないことが散見される。また、「分からぬ」との割合が多い項目もあり、保護者には必要な情報を的確に提供するなど、丁寧な広報が必要と思われる。特に、評価委員会は、学校全体にかかわる情報を広報する必要性を感じているので検討されたい。

「課題がある項目」は、生徒・保護者ともに進路指導である。進路指導＝キャリア教育のことが理解されるよう年間指導計画や情報提供の改善が望まれる。また、教職員の評価との乖離がある項目についても、生徒の変容などを捉えて自己点検をする必要性を感じる。

それとともに、生徒・保護者ともに、1年生で「課題がある項目」が散見されている。1年生の指導の充実と保護者への丁寧な働きかけについて、学校として検討されたい。

地域については、全般的に「評価が高い項目」が多い。統合により学区域が広がったこともあり、今後は広報の充実を期待したい。

今年度は統合 1 年目であるが、全般的に大きな問題もなく、正常な教育活動がなされ、生徒・保護者・地域の評価も概ね良好である。教職員の真摯な努力があってこそその結果であると思います。今後も生徒の成長に一層のご尽力を期待します。